

い が ら し く

Vol.6



だんじょきょうどうさんかく

「男女共同参画」ということばを聞いたことがありますか？

性別にかかわらず、みんなが自分の個性と能力を発揮できる社会が、男女共同参画社会です。

みなさんにとっては「そんなの当たり前！」ですよ。

でも気が付かないうちに、「オトコ」だから、「オンナ」だからという理由で、自分のやりたいことや好きなことを我慢したり、選択の幅を狭めたりしていませんか。

一人ひとりが性別にかかわらず自分の夢や希望を広げ、お互いに仲良く助け合って生きていくことができる社会を実現するために、一緒に「男女共同参画」について考えてみましょう。

様々なことを経験して 自分に自信を持とう！

■仕事内容

花屋をしながら、いろいろな花に関わる活動をしています。最近では、「花男子プロジェクト」といって、男性が花を贈る文化を根付かせるための活動に力をいれています。

例えば、2月には、バレンタインデーに男性から女性に花を贈るキャンペーンイベントとして、音楽を流しながら花束を作り、お客さんにプレゼントするというパフォーマンスを行いました。

■この仕事を始めたきっかけ

実家が花屋でしたが、花屋さんになりたいという気持ちは全くなく、社長になりたい！というのが小さい頃からの夢でした。でも、高校2年生の時に母から「花屋を継いだら、社長になれるよ！」と言われ、「それもありだな」と思い、花屋になることを考えるようになりました(笑)。



花男子プロジェクト 代表

こんどう ゆうじ

近藤祐司さん

花男子プロジェクトとは

2011年に愛知県豊橋市で、花の仕事に関わる若手の男性を中心として結成。日常生活で、男性が花を贈る文化を根付かせようと全国各地で活動を行っている。



長久手市役所建設部都市計画課
みどりの推進室 建築技師

かとう ともか

加藤朋香さん

みどりの推進室とは

まちの緑化を推進したり、公園の維持や管理を行っている。

やりたいことをやるべき！ 男女は関係ない！

■仕事内容

高校、大学では建築について学びました。現在は長久手市内の公園管理の仕事をしています。住民のみなさんが公園を安全に、楽しく使えるようにしています。

■この仕事を始めたきっかけ

部活動が盛んな高校に行きたくて受験を決めました。入学してみたら、勉強したい学科を選べる学校で、私は建築に進みました。最初は「やってみようかな～」という気軽な気持ちでしたが、自分が描いた図が組み上がって形になっていくのが楽しくなり、段々とのめり込むようになりました。



花男子×建築女子×大学生

社会で活躍するお二人に、大学生がインタビューしました!

■花は女性、建築は男性というイメージが強いですが、働いてみてどう感じますか？

近藤 お花屋さん=女性っていう世の中のイメージがあるじゃないですか。だからこそ逆に、男性がやるとギャップがあってカッコいいと思うんですよ。それも個性となり、強みになると思います。実際に花の仕事をしている男性もたくさんいますし、性別に関わらず、自分の得意を活かして働いています。

学生 たしかに男性が花を持っている姿はギャップがあってカッコいいと思います。

加藤 私はイメージは全然気にしていません。建築に関わるお仕事に自分が就きたいと強く思っていたので。それに自分が負けず嫌いで、「男性ができることが女性にできないわけがない!」と考えるくらいなので。でも、いまだに世の中には「女性だから」という目線で見られることもあるので、悔しいと感じることもあります。

■男性も女性も、いきいきと働き、活躍する社会のためには、どうしたらよいと思いますか？

近藤 女性は赤ちゃんを産むために会社を休まなければならないことがあります。男性も子育てのための休みを取ることができます。夫婦が協力して子育てをすることが当たり前の社会になればいいですね。それと、性別に関わらず、その人の力を活かせるように、一人ひとりがきちんと考えることが大切だと思います。

加藤 そのためには、職場では、誰もが、自分の意見が言える雰囲気があるといいと思います。例えば、子どもが急に熱を出した時に、男性であっても女性であっても「今日は休ませてください」と、引け目を感じることなく言えると、みんなが働きやすくなるんじゃないかと思います。

学生 同じ職場で働く人同士、お互いが理解し、助け合っていければ、よりよい社会になりますね!!

近藤さんのお仕事風景



「花男子プロジェクト」メンバー



バレンタインデーに行ったイベントの様子

加藤さんのお仕事風景



市役所事務室での仕事



公園の遊具の安全を確認

「女性」でつながる男女共同参画

有見休暇



キャビンアテンダント



<作成>

「自分らしくvol.6」は、下記の学生ボランティア団体 Volunteer Labのみなさんと協働で作成しました。

清水那美さん、望月雄斗さん、早瀬淳一さん、成田亜季保さん、宇佐美舞さん

<編集>長久手市男女共同参画審議会

<発行>2016年(平成28年)4月

長久手市役所くらし文化部たつせがある課

〒480-1196 長久手市岩作城の内60番地の1

TEL 0561-56-0602 FAX 0561-63-2100

HP <http://www.city.nagakute.lg.jp/index.html>